家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和８年 11 月２日発行

福岡県でランピースキン病の発生を確認！

11 月 1 日、福岡県の牛飼養農場でランピースキン病の発生が確認されました。

国内での発生は、令和６年 12 月以来およそ２年ぶりです。

１　発生農場の概要

所 在 地：福岡県みやま市

飼養頭数：経産牛 70 頭、育成牛８頭、子牛 15 頭
計 93 頭

異常家畜の頭数：１頭（11 月 1 日殺処分予定）

２　経緯

（1）10 月 31 日に診療獣医師より通報を受け、現地家保が検査を実施

（2）11 月 1 日疑似患畜と確定

◆ランピースキン病は、発症した牛の早期発見、隔離、移動の自粛、害虫駆除、ワクチン接種等の総合的な対策によって発生、感染拡大を防止する必要があります。農場では以下のことを心がけましょう。

毎日の健康観察、早期発見・通報

○牛の導入出荷、移動時は健康観察を徹底

○疑わしい牛（発熱、鼻汁、皮膚の結節、乳量低下等）を発見した場合は、かかりつけの獣医師や家畜保健衛生所に連絡



衛生害虫の駆除

○蚊、サシバエ、ヌカカ等の吸血昆虫対策

清掃、消毒

○衛生管理区域内の整理整頓を徹底し畜舎等の施設は清掃と消毒を実施

○飼養管理に使用する器具は１頭ずつ交換又は消毒

最上家畜保健衛生所　電話　0233-29-1357（休日・夜間も対応）